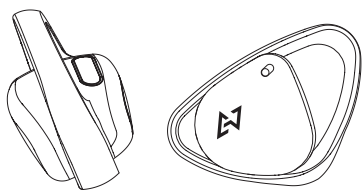




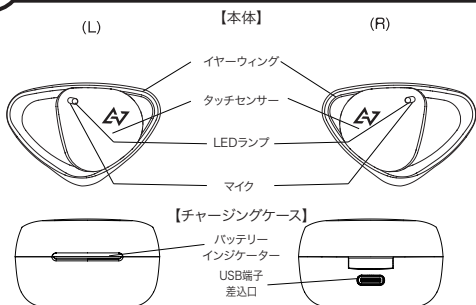
TE-S1

トゥルーワイヤレスイヤホン ユーザーマニュアル



user manual: v1.0

1 製品について



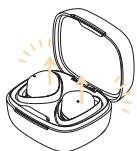
付属品

- USB Type C ケーブル1本
- 製品保証登録カード
- ユーザーマニュアル

- イヤーウィング S/M/L 各サイズ1ペア
※Mサイズはイヤホンに装着されています。

2 電源ON/OFF

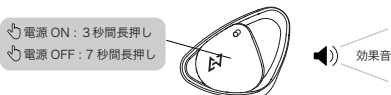
- 電源ON/OFF
＜充電ングケースで切り替える場合＞



電源 ON : LED 白
電源 OFF : LED オレンジ

イヤホン本体を出し入れすることで電源ON/OFFが切り替わります。充電ングケースに収納する際は、オレンジのランプが点灯していることを確認してからケースを閉じてください。
※接続されていない状態のまま5分経過すると、自動的に電源OFFに切り替わります。

- ＜イヤホン本体で切り替える場合＞



タッチセンサーの長押しで、イヤホン本体での電源ON/OFFが可能です。

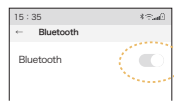
- イヤホンを片側のみで使いたい場合
イヤホンの片側を電源OFFにすることで、片耳単体でご利用できます。

3 ペアリング/リセット

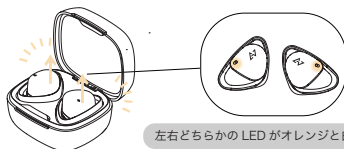
- ペアリングを行います。(初回設定時)
ペアリングについての詳細は右記QRコードを参照ください。



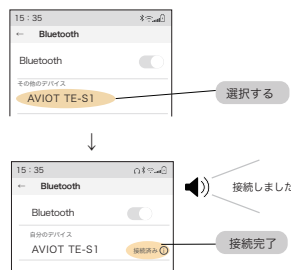
- ① 接続機器のBluetoothをONにします。



- ② イヤホンの電源をONにします。



- ③ 接続機器と接続します。



- ペアリング機器の変更方法(複数のデバイスを所有している場合)
★使用機器側から変更する場合



⇒別の接続機器で「ペアリングを行います」の③から再度行ってください。

- ★イヤホン本体から変更する場合

イヤホン本体が電源ONの状態、R側のイヤホンを効果音が流れるまで長押ししてください。



※効果音の直後に指を離してください。

⇒別の接続機器で「ペアリングを行います」の③から再度行ってください。

- マルチポイント接続

ペアリング(登録)済みの接続機器を2台同時に接続できます。接続する機器から接続操作や接続解除を行ってください。
マルチポイント接続についての詳細は右記QRコードを参照ください。



接続方法の例



接続解除の例



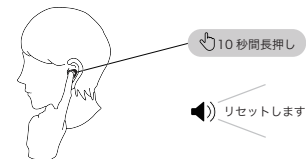
※オーディオ再生は片方で行います。2台同時に再生することはできません。

- 正しいリセット方法(操作に不具合が生じた場合)

- ① 接続した機器のBluetoothの設定を削除します。

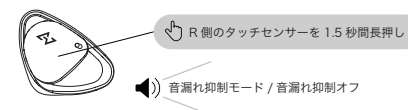


- ② イヤホンの左右本体を同時に7秒間長押しして電源OFF操作を行ったあと、左右同時に10秒間長押しを続けてください。
「リセットします」のボイスガイダンスの後、指を離すとリセット完了です。



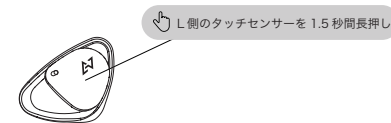
4 音漏れ抑制モード

R側のタッチセンサーを1.5秒長押し+ボイスガイダンスが鳴っている間に指を離すと音漏れ抑制モードのON/OFFが切り替えられます。



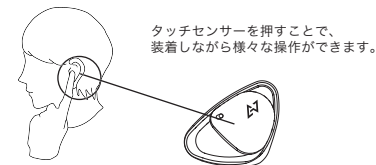
5 ボイスアシスタント起動

L側のタッチセンサーを1.5秒間長押しするとスマートフォンのボイスアシスタントを起動できます。



※接続している機種によっては機能しない場合があります。

6 操作方法一覧



- タッチセンサー操作

		L	R
🎵	再生	1タップ	1タップ
	停止	1タップ	1タップ
	曲送り	-	2タップ
	曲戻し	-	3タップ
🔊	音量を上げる	3タップ	-
	音量を下げる	2タップ	-
☎️	受話	着信時に1タップ	着信時に1タップ
	通話終了	通話中に1タップ	通話中に1タップ

7

LEDの見方

●LEDの見方

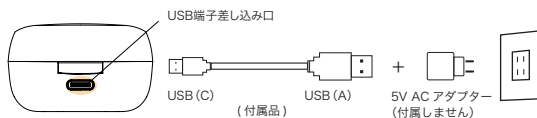
	イヤホンLED	
電源ON	白	点灯
電源OFF	オレンジ	点灯
ペアリングモード	白、オレンジ	片側が交互に点滅
充電中	オレンジ	点灯
満充電	消灯	

※接続する機器によっては、表示できない場合があります。
※イヤホンは満充電になると、自動的に充電を終了します。

8

充電

●本体の充電をする



※過電圧保護機能により、規定電圧より高く、あるいは低くなった場合は充電できなくなる可能性があります。

●充電中はバッテリーインジケータが点滅

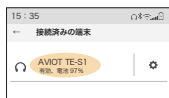
LED	電池残量
☼	1~25%
☼	25~50%
☼	50~75%
☼	75~100%

※本体充電時にチャージングケースのバッテリー容量がなくなった際、本体が自動的に端末に接続される場合がございますが、これは故障ではありません。チャージングケースへのこまめな充電をお願いいたします。

※長期間充電されない、電池のパフォーマンスが落ちるため、定期的な充電をしてください。
(推奨:1カ月に1回以上)

●本体の電池残量を確認する

電池残量をスマートフォンなど端末画面上でご確認ください。



※iPhoneの場合、ウィジェットに追加することで確認が可能です。
※電池が10%未満のとき、効果音が鳴ります。

9

正しい装着方法



・この3点がフィットすることで安定した装着感でご利用いただけます。
・付属のイヤホンは3サイズあります。
・フィット感が向上することでより良い音質でお楽しみいただけます。

10

使用上のご注意

●Bluetooth®は2.4GHz帯を使用した無線技術。

電波干渉についてのご注意

・Bluetooth®は近距離通信用の規格で、遮蔽物がない場合、直線距離で10m程度まで通信できます。高周波である為、遮蔽物(人体、金属、壁など)や周囲の電波状態によって通信有効範囲は大きく変動します。

- ・Bluetooth®通信は使用状況において、ノイズや音途切れが発生したり、最悪の場合、接続できなくなることがあります。
- 同じ2.4GHz帯の無線LANが設置されている場所や、使用中の電子レンジの周辺、変圧トランスの近くなど、電磁波が発生している場所。
- 本機とBluetooth®機器間の直線上に人体が介在する場合。
- 本機とBluetooth®機器の間に、電波を通しにくい金属、壁などの遮蔽物がある場合
- ・逆にBluetooth®機器が発生する電波は、他の電子機器の動作に影響を与える可能性があります。最悪の場合、事故が発生する可能性がありますので、次のような場所では、本機及び他のBluetooth®機器の設定をOFFにするか電源を切ってください。
- 飛行機の機内(安定飛行時には使用が認められる場合もあります。詳細は航空会社にお問い合わせください。)
- 病院内/電車内の優先席付近/ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- その他、火災報知機などセンサーで動作する機器が設置されている場所

●長くご使用いただく為に避けて頂きたい事

・過放電

内蔵バッテリーは、長期間充電されないまま放置されると過放電により劣化する場合があります。長期保存する場合は、過放電防止のため、1か月に1回程度の充電をお願いします。

・変形や破損

本機とイヤフックなどの付属アクセサリーは、長時間力を加えたり重さを加えたりしたままにすると、変形したり、最悪の場合破損してしまう恐れがあります。保管には充分にご注意ください。また、精密な電子部品を使用しておりますので、落としたり、ぶつけたりするなど、強い衝撃を与えないでください。

・避けて頂きたい場所

本機のような精密な電気機器にとって、湿気やほこり、そして高温は大敵です。湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光の当たった場所や、温度の上がる車の室内などに置かないでください。

・防水

イヤホン本体には防水処理が施されていますが、濡れた手でそのまま触れたり、汗や雨などで濡れた衣服のポケットに入れたままにすると、充電端子が劣化したり、最悪の場合ショートしたりする場合があります。水分や湿気を含んだ汚れなどは、乾いた柔らかい布でふき取るなど、できるだけ乾燥した状態でお使いください。尚、チャージングケースは防水ではありません。

●製品仕様

- 製品型番: TE-S1
- ドライバー: φ10mmダイナミックドライバー
- マイク: MEMSマイク×1(片側)
- 防水規格: IPX4相当
- 通話時間: 最大4時間
- 再生時間: 最大8時間
- ※再生時間はご使用環境により変動します。
- イヤホン本体充電時間: 1.5時間
- 充電ポート: USB Type C
- 対応コーデック: AAC, SBC
- 対応プロファイル: A2DP,HFP,HSP,AVRCP
- Bluetooth version: 5.2
- Bluetoothマルチペアリング 8デバイス
- Bluetoothマルチポイント 2デバイス
- 日本語音声ガイド

11

保証規定

- ・本製品は、通常の取扱いにより発生した自然故障に対し、無償での修理又は交換を行っていただきます。弊社へお問い合わせの際は、ご購入のレシートや納品書など、ご購入とその日付を証明する書類又は電子データをご用意の上、お問い合わせください。
- ・本製品のご使用前には、必ず取扱説明書や弊社動画をご覧いただき正しくご使用ください。
- ① 期間はご購入日より12ヶ月です。日本国内にのみ適用いたします。(This warranty is valid only in Japan)保証対象はイヤホン及びチャージングケースのみとなります。検証・交換の際の付属品や外箱の破損は保証できません。
- ※保証期間内に無償・有償交換を行った製品でも、保証期間はご購入日より12ヶ月です。無償・有償に関わらず交換後に延長されるものではありません。
- ② 本製品は改良などの為、予告なく変更する場合があります。
- ③ 以下の場合は原則として保証が適用されませんのでご注意ください。
 - a. 弊社専用登録フォームにて製品登録を行っていただけない場合。
 - b. 正規販売店のレシートや納品書などご購入を証明する書類や電子データが無い場合。
 - c. 当社サポートセンター以外で修理、改造を行ったもの。
 - d. 誤用(過大入力での破損、焼損を含む)、落下、衝撃等、お客様の不注意による事故、保管上の不備によって、製品が劣化したり、破損した場合。また症状が発生した時期にかかわらず、故障しているイヤホンに原因が認められる可能性が認められる場合。
 - e. 規格以外の電源及び電圧で使用された場合。
 - f. 消耗品に関するもの。
 - g. 故障の原因が、例えば携帯端末など本製品以外の他の機器にある場合。
 - h. 本体外装やプラグに傷、汚れなど外観に生じた損傷。(購入後発生したもの)
- 故障・不具合が生じた日が保証期間内でもお問い合わせをいただいた日時が保証期間を過ぎている場合。
- ④ 弊社取り扱っていない製品は保証できません。
- ⑤ 修理・交換期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。
- ⑥ 万が一、保証対象外と判断された場合、往復の送料をご請求させていただく場合があります。
- ⑦ イヤホン本体は左右でセットの製品となりますので、片側だけの交換は行っておりません。
- ⑧ 生産が完了している場合、同色での交換ができない場合があります。

免責事項

お客様の誤使用による本製品の故障・トラブルに関しましては保証の対象外となります。本商品をご購入いただいた後、例えば輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合や、雷や火災等の災害を原因とする故障・トラブルの場合も同様です。全てのBluetooth®機器およびアプリとの接続及び動作を保証するものではありません。本製品を使用することによって生じた、他の使用機器の故障・トラブル、およびデータの消失・破損等に関しまして、弊社は一切の責任を負いません。また、パソコンやOS、その他のソフトウェア、対応機器等の故障・トラブル及びデータの破損・消失等による損害に関しましては、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承下さい。本保証は日本国内においてのみ有効です。

12

安全のために

⚠警告事項

(この表示事項を守っていただかないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど、重大な人身事故の原因となります。)

- 本機や付属品は飲み込むおそれがあるので、ご使用後、乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、ベットの敷物が触れたり、飲み込まないよう、保管場所にご注意ください。
- 道路交通法に従って安全運転する運転者は道路交通法に従う義務があります。自動車やバイク、船舶、自転車などの運転時は絶対に使用しないでください。
- 故障や感電の原因となるため、絶対に分解しないでください。
- 本機を装着時、外からの音、例えば警告音などが聞こえにくくなります。周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。
- 充電の際は、必ず付属のUSBケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

⚠注意事項

(この表示事項を守っていただかないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。)

- 大音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。また、音量の大小にかかわらず、長時間の使用は耳の負担になります。1時間に1度程度はイヤホンを外し、必ず休憩をお願いします。
- アフレコなどで、本機が肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはお買い上げ店にご相談ください。
- 通電中の製品に、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。
- 衣類の擦れなどで体に溜まった静電気がより耳にビリビリと痛みを感じる場合があります。

🔋充電式電池の廃棄規定

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しは、絶対にお客様自身では行わずサポートセンターにご相談ください。

13

お問い合わせ

よくある質問

問い合わせ
メールフォーム製品保証
登録ページTE-S1
製品ページAVIOT
ONLINE
MALL

※パッケージや取扱説明書に記載されているブランド名、製品名などは一般に企業又は個人の商標(登録商標)です。